

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																							
専門学校 未来ビジネスカレッジ		昭和61年10月30日		田中 正吉		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																							
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日		理事長 青山 織人		〒390-0841 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500																																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																																						
商業実務	商業実務専門課程	ペットライフケア学科				平成23年文部省 告示第167号	-																																						
学科の目的	ペットライフケア学科では、日本ビジネススクール協会認定のトリマー検定および全国動物専門学校協会認定サロントリマー検定の実施を筆頭に、動物に関する各種資格取得を目標とし、実習を中心に人と動物の関わりに関連するあらゆる知識と技術を身につける。また、コンピュータ操作やビジネスコミュニケーション能力の習得にも努め、ペット業界のスペシャリストを育成するとともに良識のある社会人を目指す。																																												
認定年月日	平成23年12月22日																																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																						
2年	昼間	62	20	13	30	-	-																																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																								
60人	59人	0人	4人	2人	6人																																								
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 出席数(1単位につき90分授業15回以上の出席)、授業態度、期末試験・期末課題等により、秀、優、良、可、不可の5段階評価																																								
長期休み	■学年始:4月1日～4月9日 ■夏季:7月28日～8月27日 ■冬季:12月22日～1月7日 ■学年末:2月20日～3月31日			卒業・進級条件	■進級条件: なし(単位制) ■卒業条件: 62単位以上取得																																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の家庭連絡、父母等面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携)			課外活動	■課外活動の種類 ■課外活動の種類 学校祭、スポーツ大会(年1回) 運動会(年1回)、学科研修旅行 ■サークル活動: 有																																								
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和4年度卒業生) ペットショップ、動物病院、ペット美容室等 ■就職指導内容 就職適性診断、職業レディネステスト、個別面談等をふまえたキャリアプランニング指導、就職試験(一般常識、面接)指導、模擬面接、就職ラリーの実施、企業情報提供、企業人・卒業生の講演など。 ■卒業者数 : 30 人 ■就職希望者数 : 30 人 ■就職者数 : 30 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (令和4年度卒業者に関する 令和5年6月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和4年6月1日時点の情報)																																								
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サロントリマー検定1級</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>サロントリマー検定2級</td> <td>③</td> <td>25人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>家庭犬トレーナー1級</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>家庭犬トレーナー2級</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物飼養管理士2級</td> <td>③</td> <td>30人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	サロントリマー検定1級	③	23人	20人	サロントリマー検定2級	③	25人	24人	家庭犬トレーナー1級	③	7人	7人	家庭犬トレーナー2級	③	7人	7人	愛玩動物飼養管理士2級	③	30人	27人												
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																										
サロントリマー検定1級	③	23人	20人																																										
サロントリマー検定2級	③	25人	24人																																										
家庭犬トレーナー1級	③	7人	7人																																										
家庭犬トレーナー2級	③	7人	7人																																										
愛玩動物飼養管理士2級	③	30人	27人																																										
					※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																								

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 2名 ■中退率 0%</p> <p>令和4年4月1日時点において、在学者57名（令和4年4月1日入学者を含む） 令和5年3月31日時点において、在学者58名（令和5年3月31日卒業者を含む）</p> <p>■中途退学的主要原因 持病悪化等の健康不安</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 ■中退防止のための取組 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の家庭連絡、父母等面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) ⑤各種心理検査の活用</p>
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金制度： 有 特待生制度(学業優秀者への奨学金給付制度 入学時及び2年進学时) 資格・検定支援金制度 家族入学優遇制度 学費分納制度</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>URL : http://www.mirai.ac.jp/mit</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ペットライフケア学科に在籍する学生の主たる就業先であるペット業界において、学科の主たる目標であるトリマー職に求められる技術や知識だけでなく、トリミング技術以外に必要な知識や心得など、現場が期待する総合的な人材像を把握することは実践的な人材育成のために不可欠である。また、飼育や販売などトリマー職以外に就く学生もいることから、これらの職種に就くために有用な知識や技能ならびに人材像を把握することも同様に不可欠である。これらの職業に向けた人材育成のための授業方法や最適な科目構成を検討し改善するために、教育課程編成委員会を設置し、これを活用して業界企業等からの要請や最新動向などを学科の教育活動に十分に取り入れることを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科は、委員会において学期および年度における「教育課程の成果・反省点・問題点」などについて報告を行う。これを

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
北村 理恵子	Dog Life Lien 経営者 長野県動物愛護推進員	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	③
腰原 亜希	Kファームクリニック 獣医師	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	②
福澤 美雪	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 学部長		
小林 和愛	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 講師		
山崎 優里奈	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 講師		
竹村 みすず	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 講師		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (2月、9月)

(開催日時(実績))

- 第1回 平成26年 9月 6日 16:00～17:15
- 第2回 平成26年10月 8日 15:00～16:00
- 第3回 平成27年 2月19日 15:10～16:30
- 第4回 平成27年 9月 9日 12:40～15:00
- 第5回 平成28年 2月18日 16:00～17:00
- 第6回 平成28年10月 5日 14:00～15:00
- 第7回 平成29年 2月23日 16:00～17:00
- 第8回 平成29年10月 4日 14:00～15:00
- 第9回 平成30年 2月21日 16:00～17:00
- 第10回 平成30年10月 3日 15:30～16:30
- 第11回 平成31年 2月28日 16:00～17:00
- 第12回 令和1年10月 8日 16:00～17:00
- 第13回 令和2年 2月21日 16:00～17:00
- 第14回 令和2年 9月24日 11:00～12:00
- 第15回 令和3年 2月25日 13:30～14:30
- 第16回 令和3年 9月22日 10:30～11:30
- 第17回 令和4年 3月10日 11:00～12:00
- 第18回 令和4年 10月19日 11:30～12:30
- 第19回 令和5年 2月28日 10:00～11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

令和4年度10月の【教育課程編成委員会】において、今後の学生の学びの充実性を図るため、実習犬としての保有犬数を増やし、理想としては毎日トイプードル等のカット犬種に触れられるべきとの意見に対し、校舎の改装を行った施設にて、それが可能となっていくよう検討をしている。地域の飼い主に協力をいただいている【ビッグパウクラブ】の会員犬の登録数は500以上あるものの、実務的ではあるが丸刈り犬が多いのが現状であるためカットを実践できる犬の常駐を検討していく。授業を実施している中で学生のやる気が見えにくい場面、動物の観察時間が少ないという意見が出たため、令和5年度からは、学校保有動物の当番制の世話と観察を実施し、動物への更なる興味と学生間のコミュニケーションの向上に繋げている。

立ち上げて間もない動物飼育・ドッグトレーニング専攻に関しては、令和5年3月の専攻初卒業生で、念願の動物園就職者が出たことは大変喜ばしいことである。引き続き動物業界の様々な業種に対応できる人材育成に努めることが望まれる。トレーニングのみでなく、犬猫の世話、水槽管理、小動物の飼育管理等、様々な授業を展開する必要がある。

グルーミングの受け入れに向け、犬の皮膚状態を観察する身体チェックに関する授業を1年次からやっていきたいが、授業時数が多いため検討が必要との意見に対し、令和5年度は科目の入れ替えを行い、動物健康管理学を1年次前期より実施することとした。犬体チェックが早い段階でできるようになることに期待する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業・職業団体等が講師契約、または、施設実習協定を締結し、その連携のもと、ペット美容室、ペットショップ業界、あるいはトリミング併設の動物病院の人材育成ニーズに沿った実践教育の機会を提供する。さらにトリマー又は愛玩動物飼養管理・販売職としての職業観・勤労観を育み、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携企業2社の講師による下記の授業内容を実施。実習態度と実習技能レベルにより5段階評価。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物業界演習	動物業界で様々な生体を扱う上で形態的に最低限必要な知識を身に着ける。 犬を中心とした、細胞・組織・各臓器の形態や機能を理解するとともに、遺伝の仕組みや免疫の仕組みを理解する、さらに動物医療におけるトリマーの役割を理解することを目的に、学生に対し実践的な演習授業を行う。	Kファーム・クリニック
ハズバンドガリー実習 I	動物行動学と動物福祉に基づくトレーニング方法を理解し、日常生活で必要となるハンドリングやグルーミング時の対策・対応方法を身につける。犬に不快や恐怖を与えない接し方や慣らし方、ボディランゲージを読み取れるようになること。QOL(生活の質)を上げるためのグッズや使用方法を学び、サロンやショップなどでお客様にアドバイスができるようになる。	ドッグサロン&ドッグスクール Dog Life Lien

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職務の遂行に必要な知識又は技能を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

このことは、以下のように就業規則第19条にも定められている。

「教職員は、その職務の遂行のため、自発的研修に励み、かつ、学校または各種団体の行う研修を受け、資質の向上に努めなければならない。」

ペットライフケア学科においては、最新の業界動向からのかい離や知識・技術の陳腐化を防ぐため、トリマー又は愛玩動物飼養管理・販売職に必要とされる実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される、関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「一般社団法人 全国動物専門学校協会 定時社員総会」

(連携企業等:一般社団法人 全国動物専門学校協会)

期間:令和4年5月24日(火) 対象:一般社団法人 全国動物専門学校協会 会員校

内容:2022年度事業計画 動物系専門学校におけるコロナウイルス感染症への対応・検定時の対応について等

研修名「WJVJF 第13回大会」

(連携企業等:公益社団法人日本動物病院協会 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)

期間:令和4年7月8日(金)～令和4年8月15日(月) 対象:獣医師・動物看護師・トリマー・一般

内容:オンラインセミナー受講 獣医師向けプログラム 動物看護師・トリマー向けプログラム 予防医学等

研修名「愛玩動物看護師法 指定講習会」

(連携企業等:JVNA)

期間:令和4年5月2日(月)～令和4年8月31日(水) 対象:愛玩動物看護師国家試験受験予定者

内容:愛玩動物看護師国家試験受験資格取得に向けた講習会

研修名「全国動物専門学校協会 教職員研修会」

(連携企業等:AAV)

期間:令和4年8月3日(水) 対象:トリマー教員

内容:検定基準の紹介・ポイント確認、および作成中のテキスト紹介 等

研修名「全国動物専門学校協会 動物健康衛生管理検定委員会」

(連携企業等:AAV)

期間:令和4年8月4日(水) 対象:動物健康衛生管理検定委員会委員

内容:新資格の検定合格基準 出題範囲の選考等

研修名「FCI主催 ドッグショー見学研修」

(連携企業等:FCI)

期間:令和4年10月2日(日) 対象:

内容:各犬種におけるスタンダード・ショークリップの理解

研修名「トリマー教員実技研修会」

(連携企業等:AAV)

期間:令和5年2月23日(土) 対象:トリマー教員

内容:トイ・プードルのラムカットについての実技講習会

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「ハラスメントについて」 (連携企業等: 当法人顧問弁護士 出井 博文先生)

期間:令和5年3月22日(水) 対象:専門学校未来ビジネスカレッジ教職員

内容:ハラスメントにおける様々なケース

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「一般社団法人 全国動物専門学校協会 定時社員総会」
(連携企業等: 一般社団法人 全国動物専門学校協会)
期間: 令和5年5月23日(火) 15時50分 ~ 16時45分
対象: 一般社団法人 全国動物専門学校協会 会員校
内容: 2023年度事業計画

研修名「WJVF 第14回大会」
(連携企業等: 公益社団法人日本動物病院協会 一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム)
期間: 令和4年7月8日(土) ~ 令和5年7月9日(日) 対象: 獣医師・動物看護師・トリマー・一般
内容: 獣医師向けプログラム 動物看護師・トリマー向けプログラム 予防医学等

研修名「愛玩動物看護師指定講習会」
(連携企業等: 一般財団法人 動物看護師語紙統一認定機構 一般社団法人 日本動物看護職協会)
期間: 令和5年5月2日(月) ~ 令和5年8月31日(水) 対象: 国家試験を受験予定の動物看護師
内容: 国の指定講習会

研修名「令和5年度動物取扱責任者研修会」(連携企業等: 松本市保健所)
期間: 未定 対象: 動物取扱責任者資格所有者
内容: 動物の愛護及び管理に関する法律 動物の保管等に関する変更点や動物の感染症等について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「個人情報保護」 (連携企業等: 一般社団法人 セーフティネット総合研究所)
期間: 令和5年4月4日(火) 対象: 専門学校未来ビジネスカレッジ学生および教職員
内容: SNSの危険性とその留意点 一般社団法人 セーフティネット総合研究所 専務理事 南澤信之先生

研修名「全国動物専門学校協会 教職員研修会」(連携企業等: 一般社団法人 全国動物専門学校協会)
期間: 未定 対象: 全国動物専門学校協会加盟校講師
内容: 未発表

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をもとに、自己点検評価表を策定し、その自己点検評価表の適性度を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論および意見をもとに作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献

※(10)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・各種規定整備とコンプライアンス等のマニュアル整備の必要性についてご指摘をいただいております。今年度についても各種の規定整備とコンプライアンス等のマニュアル整備を進めていく。
- ・科目アンケートについては年4回とし、各期の中間で科目担当者にフィードバックすることで期の後半より授業内容等に関する修正が可能となり授業の質向上に努めることができています。
- ・学修成果としての資格の取得率の向上や、各学科の成果を学校が積極的に発信していくことの重要性について毎年ご指摘をいただいております。本年度も引き続き学校全体で取り組み、一定の成果と社会からの評価をいただくことができました。
- ・SNS等の有効活用についてのご意見を頂いております。情報発信については今後も検討し効果的に活用していきたい。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年3月31日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 教授	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	学識経験者
矢内 和博	松本大学	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	学識経験者
西村 明美	株式会社たちばな	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
林 兵司	パン工房 ブール	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院 放射線部 技師長	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
山田 佳代子	ポアレスチュール 代表	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
溝口 諒	でざいんと 代表	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
北村 理恵子	Dog Life Lien 事業主	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
田中 優子	卒業生同窓会 会長	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

公表時期: 令和5年6月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目に基づき、学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価について、公益法人として関連団体・業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。ただし、国際連携については、今後実施後に公表する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	なし

※(10)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit/>

授業科目等の概要

(商業専門課程ペットライフケア学科 令和5年度)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
	○		情報リテラシー1・2	パソコンOSの基本操作、インターネット活用、ワープロ、表計算、プレゼンテーション技法など、企業で多く活用されているOffice系ソフトの基本操作を習得し、検定取得を目標とする	1後・2前	60	2			○	○		○	○		
	○		キャリアプランニング1・2・3	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、履歴書作成、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する	1後・2前	90	3	○			○		○			
	○		実務教養1・2	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	2前	30	1	○			○		○			
	○		総合演習1・2	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	1・2通	60	2		○		○		○			
○			犬種概論	様々な犬種についての知見を広める。様々な犬種の歴史や、スタンダードについて、幅広く学ぶ。	1前	30	1	○			○		○			
○			動物業界演習	生体を扱う上で形態的に最低限必要な知識である、主に犬の細胞・組織・各臓器の形態や機能、遺伝の仕組みや免疫の仕組みを理解する。	1後	30	1		○	○	○			○	○	
	○		動物美容学1・2・3・4	トリマーとしての心構え。ペット美容に関する基礎知識、各犬種のカットスタイル、道具の名称と使い方、犬の扱い方、安全にグルーミングを行うためのルールなどを学ぶ。トリマー検定対策を含む。	1・2通	120	4		○		○		○			
○			グルーミング実習基礎1・2	犬の扱い、道具の扱い、掃除、接客方法などの基礎技術の習得。犬のグルーミングにおける基本ケア、トリミングについては部分カットの基礎知識と技術の習得。サロントリマー検定2級の合格を目標に時間内での全般的なトリミング技術の習得。	1通	240	8			○	○			○		

○		グルーミング 実習応用1・2・ 3・4	グルーミング実習で習得した、犬の扱い、道具の扱い、部分カット法、接客方法等を基礎として、犬のグルーミングにおけるそれらの工程を一人で、安全かつ確実に遂行する。サロントリマー3級の受験を目指す。	2 通	240	8					○	○								
○		動物美容実習 基礎1・2	部分カットおよび、全身カットの技術を習得する。また接客の基礎、受付から引き渡しまでのすべての工程について必要な知識と技術の習得を目指す。サロントリマー検定2級の合格を目標に時間内での全般的なトリミング技術を習得する。	1 通	240	8					○	○								
○		動物美容実習 応用1・2	全身カットの技術を向上させ、受付から引き渡しまでのすべての工程をひとりで完璧にこなせることを目指す。サロントリマー検定1級の合格を目標にグルーミング・トリミングの総まとめを行う。	2 通	240	8					○	○								
○		生命倫理・動物福祉	動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。動物福祉の基盤となる5つの自由について理解する。	1 前	30	1	○					○								○
○		愛玩動物学1・ 2	犬と猫の起源や歴史、犬や猫の健康管理について、ライフステージごとの特徴や注意点、人獣共通感染症および主な感染症、ワクチンや予防獣医療等について学ぶ。	1 通	60	2	○					○								○
○		動物関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学ぶ。獣医療現場、公衆衛生、環境関連の動物医療関連法規(獣医師法、獣医療法、動物愛護及び管理に関する法律、ペットフード安全法、身体障害者補助犬法、狂犬病予防法、家畜伝染病予防法、薬事法、食品衛生法など)について理解を深める。	1 前	30	1	○					○								○
○		動物行動学1	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。また、正しいハンドリングに必要な学習理論を学ぶ。	1 前	30	1	○					○								○
○		動物人間関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する。	2 前	30	1	○					○								○
○		動物飼養管理学3	動物健康管理学で習得した知識を基に、予防獣医学を念頭としたクライアントへのアドバイスの仕方・啓発について考え実践する。日常の身体観察や健康管理において、疾病学の知識をトリマーとして、トレーナーとしてどのように活かすかを学ぶ。	2 前	30	1	○					○								○
○		ハズバンド リー実習Ⅰ	動物行動学と動物福祉に基づくトレーニング方法を理解する。日常で必要となるハンドリングやグルーミング時の対策・対応方法、QOL向上のためのグッズや使用方法などを学ぶ。	1 前	30	1					○	○								○
○		ハズバンド リー実習Ⅱ	動物行動学と動物福祉に基づくトレーニング方法を理解する。日常で必要となるハンドリングやグルーミング時の対策・対応方法、QOL向上のためのグッズや使用方法などを学ぶ。	1 後	30	1					○	○								○
○		コンパニオン アニマルケア 実習	基本的な保定法(駆血等を含む)、身体検査や尿検査、一般性状検査、皮膚検査など簡易的な検査及び検体の取り扱いを習得する。	2 前	30	1					○	○								○

○		動物健康管理学1・3	犬や猫の生態や疾病、消毒法や感染予防、健康管理について学ぶ。ワクチンや予防獣医療等、健康管理に必要な知識を身につける。飼い主への問診の仕方、犬の身体チェック、バイタルサインの測り方、皮膚状態のチェック等、グルーミング前の犬の状態を把握するために必要な知識技術の習得。また、最低限知っておくべき犬の疾病と症状。	1前	30	1	○			○										
○		動物健康管理学2	愛玩動物飼養管理士試験対策授業および動物基礎栄養学。成長段階に合わせた適正な食事、フードに関する知識、必須の栄養素、肥満予防について栄養学の基礎を学ぶ。	1後	30	1		○		○										
○		飼育実習1・2	学校飼育動物を管理することにより責任感と各動物の生態について学ぶ。	1後	60	2				○	○									
○		動物飼養管理学4	動物栄養学や動物行動学、動物疾病学などの学びをふまえ、実際の現場での飼い主教育に活かす。	2前	60	2				○	○									
○		比較動物学1	産業動物の歴史や品種、飼養管理法、および畜産業など社会との関わりについて学ぶ。実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験との関わりについて学ぶ。	2前	30	1	○				○									
○		動物繁殖学	犬や猫などの繁殖に関わる形態機能を学び、妊娠・分娩と新生児管理、遺伝学の基礎知識を学び習得する	2後	30	1	○				○									
○		動物飼養管理学5	犬・猫のみならず家畜等の畜産動物、エキゾチック動物の飼養管理における幅広い知識を身につける	2後	30	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○		ドッグトレーニング基礎1・2・3	行動学に基づいたトレーニング法に関し知識を習得し、実践する。しつけの必要性、条件付けなどの学習理論を学び、動物がどのように学習するのか、『学習の起こる仕組み』を理解し、実践する。	1通	180	6					○	○							○	○
○		ドッグトレーニング応用1・2	ドッグトレーニング基礎で習得した知識と技術を更に向上させる。問題行動への対処、飼い主へのカウンセリング法、トレーナーとしての技術向上を目的とする。また技術習得の成果として、JAHA家庭犬しつけマナーチャレンジ初級合格を目指す。	2通	120	4					○	○							○	○

○	総合実習1・2・3・4	グルーミング手技の基礎の習得を筆頭に、動物業界における様々な事柄について調査・研究もしくは現場の実習行う。今後の業界の役割、動物と人との関係を理解し、自己のあり方を考える。各自、実習での習得技術内容および研究テーマ等の決定、調査・探求・実験（製作の場合もある）、データ作成、パワーポイント作成。もしくは、各種資格取得を目指す。また内定先のより提示された課題に取り組む。現場で実習を行って課題を達成することも含む。	1 通・ 2 通	60	2	△	○	○	○	○				
○	学外実習1・2・3・4	ペットショップ、美容室、動物病院等でプロの直接指導による業務経験を通じ、現場で必要とされる技術やサービスの実地を知ることで今後の学習目標および重点学習項目をより実戦的に捉えなおす機会とする。	1 ・ 2 通	120	4		○		○	○	○	○		
○	動物業界研究 1・2	今後の業界の役割、動物と人との関係を理解し、自己のあり方を考える。各自、実習での習得技術内容および研究テーマ等の決定、調査・探求・実験（製作の場合もある）、データ作成、パワーポイント作成。もしくは、各種資格取得を目指す。また内定先のより提示された課題に取り組む。現場で実習を行って課題を達成することも含む。	2 通	60	2	△	○	○	○	○	○			
○	卒業研究・制作	2年間の学習の集大成として、習得カリキュラムに関連したテーマを選び、論文作成あるいは制作を行い、プレゼンテーションを実施する。	2 後	150	5		△	○	○		○			
合計			30 科目	1860単位時間(62 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：62単位以上の単位取得 履修方法：【必修科目】23単位，【選択必修科目】41単位 単位制履修に関する留意事項 ①30単位時間を1単位とする。1年間に取得できる単位は最大45単位までとする。 ②単位数が2以上の科目は、30単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合には、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。